

平成30年12月能代市議会定例会

# 市長説明要旨



平成30年12月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、使用料及び手数料等についてであります。平成31年10月に消費税等の引き上げが行われることから、利用者の意向等を含め見直しの検討を進めてまいりました。9月から10月にかけて実施いたしました公共施設の利用者アンケートでは、施設使用料について現状の使用料が適当との回答が52.2パーセントと過半を占めておりました。また、消費税等増税の際には、食料品や新聞等軽減税率対象品目を除く多くの生活必需品、サービスの価格が上昇することとなり、これに合わせて公共施設の使用料や各種手数料を値上げした場合、市民生活への影響が大きいことから、据え置くことといたしました。

ただし、外税方式となっている水道料金等については、消費税等増税の対象となるほか、道路占用料等については、国、県と同様の取り扱いをしていくことになると考えております。

次に、小規模校統合後の空き校舎等の利活用についてであります。平成31年度に第五小学校に統合される崇徳小学校及び鶴形小学校について、各地域の皆様と2回の意見交換会のほか、意見募集を行いました。今後も意見交換を続けながら地域の意見をとりまとめ、利活用に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

また、利活用の方向性が定まるまでの間、各地域の皆様へ体育館やグラウンドを開放し、地域行事やスポーツ、健康づくり等に活用していただきたいと考えております。

なお、31年度に東雲中学校に統合される予定の常盤中学校については、その翌年度に向能代小学校に統合される常盤小学校と一体的に利活用の検討を進めることとし、朴瀬小学校及び竹生小学校とともに、今後、地域の皆様の御意見をお伺いする機会を設けたいと考えております。

次に、特別養護老人ホーム海潮園の廃止に伴う新たな整備についてであります。2022年3月までに、能代山本広域市町村圏組合の海潮園が廃止される予定であることを踏まえ、市では、第7期介護保険事業計画に基づき、民間による整備を前提とした検討を進めてまいりました。この度、能代市活力ある高齢化推進委員会等の御意見もお伺いしながら事業予定者の選定条件を定め、11月26日から応募型プロポーザル方式による公募を開始しております。

今後は、プレゼンテーションやヒアリング等を経て事業予定者を今年度中に選定することとしております。

なお、施設の指定権者は県となっており、市は事業予定者の選定を行った上で、施設整備計画に係る意見書等を県へ提出することとなります。

次に、能代港の利活用促進についてであります。10月18日に国土交通省、経済産業省、地元選出国會議員に対し、能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会の設立を報告するとともに、今後の支援、指導等をお願いしてまいりました。

あわせて、能代港湾振興会、能代商工会議所、秋田港振興会、秋田商工会議所が連名で、本県における洋上風力発電事業の拠点化に向けた整備促進を要望しております。

市といたしましては引き続き、要望活動や広報活動等に取り組み、本市の関連産業の集積、雇用の創出、ビジネスチャンスの拡大等による活性化を目指してまいります。

DMO設立に向けた取り組みについてであります。11月2日に、能代山本地域の1市3町及び能代商工会議所や各商工会、観光協会をはじめとする多様な関係団体参加のもと、広域連携により観光振興を図ることや地域連携DMOの設立を目指して、あきた白神観光連絡調整協議会を設立いたしました。

同協議会では、平成31年4月の設立に向けて、DMO候補法人申請及び法人登記申請を進めることとしております。

市といたしましては、申請事務に協力するとともに、DMOの事業費・運営費の負担及び市職員の派遣等についても検討しております。

白神ねぎの生産拡大についてであります。今春の天候不順により、夏場までの出荷量は前年を下回っておりましたが、秋以降は生育が回復するとともに市場価格も好調に推移し、JAあきた白神の白神ねぎの販売額は10月末に4年連続で10億円を達成しております。

11月23日には白神ねぎの魅力と産地をPRするため、JAあきた白神や生産者等との共催により、市役所さくら庭で「第1回白神ねぎまつり」を開催いたしました。当日は、雪混じりの天候でしたが、市内外から多くの方々に御来場いただきました。

市といたしましては、今後も関係機関等と連携して生産拡大やブランドの確立等に取り組んでまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する

条例の一部改正は、職員の給料月額、勤勉手当の支給割合等を改定しようとするものであります。

能代市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正及び能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正は、それぞれ期末手当の支給割合を改定しようとするものであります。

能代市行政財産使用料徴収条例の一部改正は、旧能代地域と旧二ツ井地域の行政財産に係る使用料額の算出方法を統一しようとするものであります。

能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例の一部改正は、これまでの月額奨学金に代わり、入学一時金を貸与しようとするものであります。

能代市立図書館条例の一部改正は、能代市立二ツ井図書館を設置するとともに、既存の図書館の名称を変更しようとするものであります。

能代市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正は、能代市公共下水道事業計画の区域の拡大に伴い、計画処理人口及び計画1日最大処理水量を変更しようとするものであります。

このほか、秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更及び能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について提案しております。

次に、平成30年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、個人市民税、法人市民税及び固定資産税の追加、県支出金については、ふれあいの森整備事業費補助金の減額、繰入金は、財政調整基金繰入金の減額、市債は、庁舎整備事業債の追加であります。

次に、歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、市長市議選挙費2,351万5千円の減額、民生費においては、過年度国庫負担金等返還金（社会福祉関係）2,022万4千円、過年度国庫負担金等返還金（児童福祉関係）888万5千円の追加、農林水産業費においては、産地パワーアップ事業費補助金910万5千円を計上しております。

商工費においては、大館能代空港利用促進事業費492万円を、土木費においては、浸水対策事業費438万9千円を、教育費においては、小学校管理費597万9千円、中学校管理費405万5千円を追加しております。

また、職員人件費1,518万1千円の減額を関係費目に計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は2,312万8

千円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は283億8,650万円となります。

このほか、平成30年度各特別会計補正予算案及び各企業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。